

第77号

— であい ふれあい こころのわ —

RECあいち

(平成30年1月1日)



toto 助成事業

ニュースポーツフェスティバル2017

雨にも負けずニュースポーツを体験!



【ラダーゲッター】



【スポーツチャンバラ】



【キンボールスポーツ】

平成29年10月29日(日)台風22号の影響もあり、降りしきる雨の中で愛知県レクリエーション協会主催の「ニュースポーツフェスティバル2017」が、愛・地球博記念公園(モリコロパーク)の地球市民交流センターをメイン会場として22の種目団体の協力により開催されました。

当初予定していたグランドゴルフなどの屋外種目は雨のため取り止めとなりましたが、ラダーゲッターやキンボールスポーツ、スポーツチャンバラといった屋外で行う予定だった種目は、それぞれのスタッフが工夫して場所を確保し、参加者の呼び込みなどをし、若者や家族同士がおおいに盛り上がっていました。

また、体育館ではインディアカやバウンドテニスなどネット系のニュースポーツがセットされ、家族連れや友達同士のグループがスタッフと一緒に楽しんでいました。

今年愛知県レクリエーション協会に新しく加盟された「組討道」のコーナーでは、道着を付けたちびっこがお母さんと一緒に護身術の方法を教わるなどほほ笑ましい光景も見られました。

今年は悪天候のため参加者の出足が危ぶまれましたが、参加者6,518名と多く、各コーナーはスタンプカードを持った参加者が途切れることなく、スタッフのみなさんが大忙しの日でした。

今年紹介されたニュースポーツ種目

- | | |
|--------------|-------------|
| ① スポーツ吹き矢 | ② タスポニー |
| ③ 組討道 | ④ ダーツ |
| ⑤ ニチレクボール | ⑥ 3B体操 |
| ⑦ クロリティー | ⑧ ダブルダッチ |
| ⑨ ディスゲッターナイン | ⑩ スラックライン |
| ⑪ バグダー | ⑫ スカイクロス |
| ⑬ レクリエーション卓球 | ⑭ バウンドテニス |
| ⑮ ミニテニス | ⑯ インディアカ |
| ⑰ スナックゴルフ | ⑰ スポーツチャンバラ |
| ⑲ キンボールスポーツ | ⑲ ラダーゲッター |



【インディアカ】



【クロリティー】



【組討道】

新カリキュラム（平成29年度カリキュラム）講師講習会及び今後の講習会

平成29年10月1日(日)愛知県スポーツ会館大会議室において、(公財)日本レクリエーション協会レクリエーション支援者育成部マネージャー小久保信幸氏をお招きして「レクリエーション・インストラクター養成講習会新カリキュラム講師講習会」が開催されました。

この平成29年度カリキュラムは今まで培ってきたレクリエーションの特性をわかりやすく、初めての人でも納得の行く伝達法であると思います。インストラクターは疑われず自然と仲間のように受け入れられその場に溶け込んでみんなをやる気にさせます。

「気持ちをひとつにするために、意思疎通を図ること」により信頼され、安心して自分らしく振舞うことや、自分の気持ちを表現することができる人たちの中で楽しむことが主体性を育てます。どうしたら意思疎通を図ることができるのか？対象者の気持ちを受け止め共感することから始まります。対象者がどのような状況にあるのか、何を望んでいるのかなど、対象者の様子をしっかりと「みて」、対象者の話をしっかりと「きいて」対象者の気持ちを「感じ」ます。対象者の気持ちを受け止めていることが伝わったときに、そのインストラクターと意思の疎通を図りたいという気持ちになります。イン

ストラクターは対象者の言葉や表情やしぐさに自分のそれらを合わせていきます（支持的な反応、言葉を繰り返すことや、相手の言葉やしぐさを真似することなど）このようなコミュニケーション技術を用いて「あなたの気持ちを受け止めている」と対象者に伝えることで、対象者とインストラクターの共通点が増え、信頼関係が成立しやすくなります。このように、レクリエーションの主旨である「ここを元気にすること」を実践していくインストラクターを養成するため、講師として必要な考え方、以前との相違点などを重点に午前中約2時間、午後から約3時間、皆さん熱心に受講されていました。さっそく来年度の準備に取り掛かれることでしょう。



平成29年度 県レク指導者会員交流サロン開催

平成29年6月24日の愛知県スポーツ会館(名古屋会場)を皮切りに、安城市青少年の家(三河会場)、あま市美和ふれあいセンター(尾張会場)の3会場で行われ、延べ54名の方々が参加され活発な意見交換が行われました。

名古屋会場では、県レクと市町村レクが協力して事業ができないかとか、レクに興味の無い人でもレクあいちを手にとって貰える工夫が必要といった意見や、サロンのイメージからして、もっとわいわいがやがやと和やかな雰囲気を目指した人もいたようです。

また、三河会場では連絡手段の多様化により、IT機器の効率的な活用で若い人や子育て世代が参加できるように考えて頂きたいとか、市レク協会が他県への展開支援をしているとの話がありました。

そして尾張会場では、参加団体の活動報告があり、その中でも豊橋ポンレクの「レク・レストラン」が大変好評で「是非ともやってみたい」という声が沢山聞かれました。

今回の交流サロンでは地元会員以外にも自分の日程に合った会場へと、遠くからの参加の方も多数見え、全体的に普段会えなかった人に会えて良かったとか、他地域の情報が聞けて良かったとの意見が多くあり、出席された方々は今後も続けて行ってほしいとのことでした。

また、共通した話として会員の高齢化や有資格者の減少に対して何らかの対策が必要との声も聞かれたり、ほかにも、予算、決算の閲覧や道具に関するもの、イベント会場に関するもの、RECあいちに関する意見などが多数聞かれました。



【名古屋地区】



【尾張地区】



【三河地区】

加盟団体紹介

碧南市レクリエーション協会

お互いの大好きを尊重し、手と心をつないで40年!! 9団体、1,000名を超える団体に成長した本協会は豊かな人材と環境を活かして、成長して参りました。去る9月に各協会の仲間への思いやりある活動が認められ、全国大会においてレクリエーション運動普及振興功労団体表彰を受賞致しました。各団体の活動はボランティア精神に満ち溢れ、今ではふれあい活動の街の

重要な戦力になっています。種目を越えて協力し、チャレンジデー、元気ッスあそびのリレー、市民ふれあいフェスティバルなど20数種目を展開、中高生、学生、各団体ボランティアと老若男女の交流をしています。今後も市行政、他団体と協力し合って市民の皆さまのニーズに応えられるよう、豊かなあそびと学びを提案、企画のお手伝いをして参ります。



【NPO法人アイディアC体創協会】



【碧南囲碁クラブ】



【碧南市インディアカ協会】



【碧南市グラウンドゴルフ協会】



【碧南市スポーツ吹矢愛好会】



【Hekinanスラックラインクラブ】



【碧南レクボン協議会】



【碧南レクリエーション指導者協議会】

加盟団体紹介

日本民踊研究会

戦後問もない昭和23年、夏季民踊講習会が愛知県下の各市町村で始まりました。初代島田豊年の提唱する「踊って心に灯を」の合言葉に呼応して、戦前から村々の盆踊りの中心的存在であった青年団諸君や、進駐軍がもたらしたフォークダンスになじめない婦人会の人達が水を得た魚のごとく集い、踊りを通して戦後の社会づくり、人づくりに明るい希望を見出しました。この愛知県発信の民踊活動が、他府県にもまたたく間に拡がり、日本各地に踊りの輪が生まれ、昭和30年、初代島田豊年の呼びかけで「日本民踊研究会」が発足し、北海道、山形、富山、丹後、浜松、岐阜、伊勢、大阪、兵庫、広島、大分、宮崎、長崎の各地に支部が置かれ、全国規模の民踊活動が展開されることとなりました。

現在2500名の有資格者（師範・準師範・名取）を擁し、それぞれが各市町村に根を張り、地域文化の発展、向上に力をそそいでいます。

本会発足の礎となった夏季民踊講習会は、今もとぎれることなく開催されており、愛知県下各市町村の延べ1万人に及ぶ民踊ファンが、6月初旬から7月初旬に開催される講習会を心待ちにして集い、和気あいあい

の1日を楽しんでいます。

平成29年の講習会も無事終了し、県下では大府市をかわきりに、小牧市、知立市、常滑市、日進市、新城市、東海市、春日井市、岩倉市、半田市、東浦町、扶桑町、東郷町、尾張旭市、稲沢市、豊橋市、豊明市、知多市、武豊町、江南市、瀬戸市、刈谷市、一宮市の各市町村で行われ、並行して名古屋市内では、女性会を対象に、天白区、港区、中川区、東区、中区、緑区、瑞穂区、昭和区、西区、名東区、熱田区、千種区、守山区、南区、中村区、北区で行われ、例年どおりの盛況でした。

この講習会のコンセプトは「万人の、万人による、万人のための踊り」と言えます。オリンピックのアスリートのような苛酷な訓練を経た特殊な技能とは対極にある、だれもが、いつでも、どこに居ても楽しめる、平易で、簡潔な身体運動を「民踊」と名付け、全国を駆けた初代島田豊年の志を、今後も守り抜いてゆきたいものです。

夏季講習も終りに近づく7月中旬には、地域の広場や校庭に踊り櫓が仕組まれ、提灯が灯り、いよいよ盆踊り本番。夏こそ私共、日本民踊研究会の尊い原点です。

平成30年度レクリエーションインストラクター資格取得養成講習会

来年度の講習会の予定は下表の通りです。関係の皆様にご紹介ください。

回数	期 日	内 容
第 1 回	5月27日(日)	レクリエーションの意義、良好な集団づくりの方法
第 2 回	6月10日(日)	コミュニケーションと信頼関係づくり、福祉レク、マンカラ
第 3 回	6月24日(日)	ニュースポーツ(ラダーゲッター、チャレンジ・ザ・ゲーム)
第 4 回	7月 8日(日)	ホスピタリティ、スイッチ体操、レクダンス
第 5 回	7月22日(日)	心の元気づくりと対象者の元気、チャレンジゲーム
第 6 回	8月 5日(日)	レクリエーション事業論
第 7 回	8月19日(日)	モデルプログラムの習得
第 8 回	9月 2日(日)	健康づくりとレク、ノルディックウォーキング、ソング
第 9 回	9月30日(日)	自主的、主体的に楽しむ力を高める展開方法

表彰おめでとうございます。

大府の太田正孝様が、長年のレクリエーション普及活動の功勞により、文部科学大臣より表彰されました。

また、次の方々も9月の全国大会で日本レクリエーション協会より表彰されました。

江南短期大学・脇坂康彦様、
長久手市・瀬川典子様、
あま市・山内哲郎様、
碧南市レクリエーション協会様



【太田様】



【脇坂様 瀬川様】



【碧南市レク協会】



【山内様】

県レク協会一同、心よりご祝辞を申し上げますとともに、今後の一層のご活躍をお祈りいたします。

愛知県レクリエーション指導者大会のお知らせ

今年も下記の通り指導者大会が開催されます。本年度は、午前中は、指導者の皆さんに、県レクリエーション協会について、協会の概要・組織と来年度事業と協会設立70周年記念事業についても紹介いたします。

午後からは、亀井千春氏が、創作ゲーム『チャレンジゲーム』を紹介いたします。チームみんなでチャレンジして楽しめるゲームです。

日時：平成30年3月18日(日) 10:00～16:00

場所：愛知県スポーツ会館・大会議室他



第4回愛知県ラダーゲッター選手権大会開催!



平成29年10月8日(日)、愛知県スポーツ会館で愛知県ラダーゲッター選手権大会が開催されました。

これまでで最大の106人が参加し、当協会の稲垣会長もオープン参加として予選に加わりました。試合は予選から高レベルの接戦が続き、参加者は懸命に投げ合っていました。午後から決勝トーナメントが行われ、結果、優勝は長久手市のチーム“ナガクテスリー”、準優勝は高浜市のチーム“青木クラブA”となりました。

編集後記

今年は、愛知県レクリエーション協会設立から70年になります。ニュースポーツフェスティバル、ラダーゲッター選手権大会、指導者大会、交流サロン、レクリエーション・インストラクター資格取得講習会など、これまで積み上げてきた県レク協会事業の今後ますますの発展を願う限りです。(総務部H)

発行

愛知県レクリエーション協会

- ・事務局 〒462-0846
名古屋市北区名城1丁目3番35号
愛知県スポーツ会館内
TEL (052) 618-5409
FAX (052) 618-5408
E-mail : office@rec-aichi.sakura.ne.jp
ホームページ <http://rec-aichi.sakura.ne.jp>
- ・発行責任者 理事長 近藤 昇